

平成 26 年 5 月 26 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 松野 豊 様

議会報告会 4 班

班長 乾 紳一郎

楠山 栄子

藤井 俊行

坂巻 忠志

秋間 高義

伊藤 實

海老原 功一

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 26 年 5 月 11 日 (日)
午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 30 分
終了後 石岡市議会との意見交換 約 30 分
- 2 場所 流山市東部公民館
- 3 欠席議員 坂巻議員(怪我のため)
- 4 参加者数 23 人
(内 = 石岡市議会 7 名、流山市議 3 名、事務局 1 名)
- 5 報告内容
「平成 26 年度の予算における東部地域の主要事業」

6 意見交換内容

Q, 人口が減少の予想というが、向小金 2 丁目、3 丁目では人口が増えている。

A, 現在は毎年 2 千名前後の人口増、6 年～7 年で計画では人口は減少する見通し。今回の説明は、東部浄水場に関連しているので給水人口(節水や大規模契約の減少)の減少と市の人口減少は少し違う。

Q, 新しい跨線橋計画は今のような片側通行なのか。

自転車道路も出来るのか。

A, 双方向通行になる。移転も伴う用地買収なので地権者のご理解が大事である。行政が粘り強く理解を求めて進める必要がある。車道と歩道、エレベーターも出来る予定。市の都合で計画が変わっている。もし工事が進まないのであれば、3・4・10 号線の整備を進めるなど代替えが必要。

Q, 本州団地の本下水道整備が進捗したことは評価する。本下水道整備に合わせて U 字溝のフタ掛けをすすめて欲しいが、道路とフラットになっていない箇所もある。

A, 工事が始まる前に協議しておく必要がある。工事が進んだ時点でフタ掛けを要望すると段差ができてしまう。地元自治会と連携をして早い時期からの要望が重要。

Q, 東部中学校から 6 号線までの道路幅員が広がると言われているが、住宅の生け垣がはみ出ている。行政から指導して欲しい。他の所も沢山あると思う。

A, 迷惑が大きければ指導していると思う。現状を調査するように要望する。

Q, 東部浄水場が廃止されると生活に影響があるのか。

A, 災害発生時の配水の際、車による来場を禁止している。遠くの場合は問題となる。他の問題は無いと思う。構想が示されただけで、計画が決定したわけではない。今後、議会で議論していく。

Q, 跨線橋は耐用年数も経っている。危険ではないか。ま

た、東部浄水場も美味しい水である。無くさないで欲しい。
A、耐震基準に沿って計画している。絶えず安全性を心掛けるように当局に要請する。

浄水場の水は、過去 100% 井戸水であった。現在はブレンドされている。残して欲しいという声は、丁寧に執行部に届けていきたい。

【全体的なフリーの質問】

Q、 さんの会派では 4 名削減に賛成したが、2 名削減には反対した。県議会では削減が大事と発言があり、選挙公約でも定数削減するとなっていた。結果は削減ができなかった。何か事情があったのか。

A、会派内で意見が割れた。選挙で約束もしているので 4 名の削減案に賛成でまとまった。2 名削減案は、急に出たので意見がまとまらなかった。

Q、選挙公約では、2 名削減あるいは 4 名削減と人数を掲げていたわけではない。削減案を潰す為の裏事情があったのでは。

A、会派で意見がまとまらなかった。裏はない。

A、それぞれの意見に対する討論が公開されている。市民には、来年が市議会選挙ですので、そこで判断してほしい。

Q、自治会や老人会等の未加入の独居老人の孤独死問題が心配。また、民生委員が市からの業務依頼が多すぎて忙しすぎるのでは。

A、議員有志でも孤独死条例の提案に向けて視察も行った。執行部から提案するので、待ってくれと言われている。自治会の中では常盤平団地等に視察に行き、頑張っている自治会もある。担当課がもっと動くべき。制度は沢山あるが、制度疲労している。民生委員は負担も大きく、受けてもいない。空席も多い。自治会によって対応が違う。

Q、見守りネットという施策を自治会に投げかけられている。自治会や民生委員の負担は増えるが、これによって孤独死ゼロになるわけではない。

A、市は地域で担って欲しいと考えている。地域の人を巻

き込んで活動して欲しい。

A, 担当課で書式ができています。その伝わり方などが統一されていない。また、伝え方も人によって違う、今後は統一して伝えるように担当課に要望する。

A, 介護もそうですが、施設から在宅へ、医療は、病院から在宅へという流れから家庭や地域の負担が増えている。市の役割は大きくないと言っているようだが、私たちは違うだろうと指摘している。介護事業者が計画から抜けている、大事にしていきたい。

Q, 大雪の時、町内放送で、隣近所のお年寄り宅の前をみんなですべて除雪しましょうと放送があった。とてもうれしかった。雨戸やカーテンが開いていないと心配もしてくれる。みんなが心配する気持ちが増えていけばよい。

A, あの時は、みなさんが感謝していた。喜んで、隣同士の助け合いの気持ちを持っていた。

Q, 中央病院の送迎バスでおおたかの森病院に行くのは気が引けるが、利用して良いのか。

A, 委託料を支払っているのです。大丈夫です。60歳以上でバスを持っていれば利用できます。

Q, 自治会担当課が市民生活部長や課長等の多くが一度に代わってしまった。防災課長も代わってしまい、進めている話がスムーズに伝わらなくなっている。

A, 私たち議員には人事権が無いので、市長や副市長に伝えることしかできないが、担当者が一気に交代してしまうのは問題だと思う。

7 参加者から議会への要望

- ・設営を自分たちで行うのは良いが、質問者にマイクの準備がなかった。
- ・資料を用意しなかったなので、資料も準備してもらいたい。

8 所感

・参加人数が多くなり、市民と議員が落ち着いて質問し、答え、意見を交換することができた。参加した市民も希望する人は、ほとんどの人が発言できた。また、一通りのやり取りだけでなく、2回3回の応答がなされたり、市民同士の話し合いもあり、それに議員もからむなど、討論する場になっていたのではないかと思う。

・テーマについての説明は、説明担当の方がパワーポイントを準備し、わかりやすかったと思う。資料が欲しかったとアンケートにも書かれており、今後の課題として検討していく必要がある。

・東部地域で実施される今年度の事業をテーマとしていたので、説明者も質疑応答も東部地域の2名の議員に限られていた。前回の北部地区での開催時も北部地域の議員が説明、質疑応答に応えることになり、他地域の議員はお客さんになってしまった。常任委員会をベースに班を構成すると都市建設委員会では、このような傾向になりやすく、今後、班の構成については、再検討が必要だと感じた。

・テーマ以外のフリータイムを40分設けたが、地域の「見守り活動」について自治会の悩みも出され、他の自治会の市民、議員もからんで意見交換がおこなわれ良い話し合いができた。また、高齢者移動サービスのバスの利用について、具体ケースで質問が出され、解決するなど、いい雰囲気だったと思う。

・茨城県石岡市議会の議長・副議長、特別委員会委員長・副委員長と議会事務局3名が見学したが、報告会終了後に、30分程度、意見交換をおこなった。石岡市もこれから検討しているとのことで、交流の時間がもてたことは良かったと思う。

・参加人数が少なくなっているが、いわゆる動員ではなく、自治会や各種市民団体、業界団体、一般の市民に積極的に

案内を広げ、議会や議員とフランクに意見を交換できる場として、認識してもらえようにすることが大事ではないかと思う。

・意見交換のテーマをどう決めるかが大事だと思うが、市民から議会報、WEBなどで、議会報告会のテーマを募集することもありうるのではないかと思う。

(以上、所感については班長の乾がまとめました。)